

# 令和7年度 宇都宮市地域公共交通会議（栃木県宇都宮市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

- ・本市では少子・超高齢社会や環境問題に対応し、持続的に発展できるまちづくりを進めていくためには、これまでの車中心の社会から、車と公共交通が共存した社会への転換を図ることが必要であると考えている。
- ・このような中、本市の公共交通の現状は、市中心部においては、市を南北に縦断するJR宇都宮線や東武宇都宮線などの鉄道と併せて路線バス網が整備されている一方で、バス路線が市中心部から郊外に向けて放射状に運行されていることから、郊外に向かうほど、公共交通空白地域が生じている状況である。
- ・そのため、本市では、需要や地域特性に応じて、鉄道やバス、乗合タクシーなどが効率よく連携した公共交通ネットワークを構築し、公共交通空白地域の解消を目指しているところである。
- ・本市における補助対象系統については、支線公共交通として位置づけ、宇都宮市内の各地域内において、買い物や通院など日常生活における移動を担うとともに、地域間の移動を担うライトラインや幹線バスと接続するものである。（芳賀・宇都宮地域公共交通計画 53ページ）



|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 面積           | 416.85 km <sup>2</sup> |
| 人口（R7.4.1時点） | 511,211 人              |
| 15歳未満        | 59,810 人               |
| 65歳以上        | 272,746 人              |
| 高齢化率         | 30.29%                 |

## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

本市の公共交通の現状は、市中心部においては、鉄道と併せて路線バス網が整備されている一方で、バス路線が市中心部から郊外に向けて放射状に運行されていることから、郊外に向かうほど、公共交通空白地域が生じている状況である。

本地区（国本地区・篠井地区・富屋地区・横川地区・雀宮地区・上河内地区・河内地区・平石地区・豊郷地区・清原南部地区・姿川地区・石井地区）においては、地区内を路線バスや鉄道などの既存の公共交通が運行しているものの、停留所等までの移動が困難なエリアが存在するなど、高齢者等の交通弱者の移動手段の確保が課題となっている。

## 交通計画の計画期間

令和6年度～令和15年度

## 協議会開催状況

（令和7事業年度に係るもの）

第1回（令和6年6月5日）  
R7事業年度フィーダー計画を協議

第2回（令和8年1月13日）  
R7年度事業評価について

## 定量的な目標

- ・1回あたりの平均乗車人数 2.0人／回
- ・自治会加入世帯数に占める利用登録世帯数の割合が、当該地区人口に占める後期高齢者（75歳以上）の人口の割合以上

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討(続き)

### 【事業の実施状況】

#### ○ 地域連携ICカード「totra」の導入(令和4年9月～)

##### [概要]

公共交通の乗り継ぎ円滑化や利便性向上のため、鉄道やLRT、バス、地域内交通において、乗降時に機器にかざすだけで乗り降りできるICカード「地域連携ICカード」を導入する。また、ICカードの導入と併せて、「バスの中乗り前降りへの改善」の実現により、利用者の利便性向上・乗降時間短縮を図るとともに、公共交通を乗り継ぐ際の運賃を割り引く「乗り継ぎ割引」や路線バスの運賃に上限を設定する「上限運賃制度」などにより、公共交通利用者の運賃負担の軽減を図る。

#### ○ 予約・配車システムの導入(令和5年～)

##### [概要]

地域内交通の持続可能な運行に向けて、民間企業と連携しながらデジタル技術を活用した「地域内交通予約・配車システム」を導入する。パソコン、スマートフォンから24時間予約を行うことが可能となるほか、お迎えまでの待ち時間や車両の現在地を確認することができることから、利用者の利便性向上を図るとともに、運行の効率化を図る。

### 【来年度にむけた取組の検討】

- ・ 既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・ 「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・ 予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、伴走型のWEBアプリ登録支援説明会を実施するなど、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

## アピールポイント

- ・ 地域のニーズや地域特性に応じた運行を行うため、運営は自治会長等を中心とした地域住民組織が主体となって行われている。
- ・ 地域で支えるといった観点から、自治会支援金のほか、企業協賛金の募集活動を行い、持続可能な運行を目指している。
- ・ 誰もが利用しやすい公共交通を目指し、一部の地区ではユニバーサルデザインタクシーを活用しており、市もユニバーサルデザインタクシーの導入支援体制を構築している。

## 補助対象系統の概要(続き)

・国本地区・篠井地区・富屋地区・横川地区・雀宮地区・上河内地区・河内地区・平石地区・豊郷地区・清原南部地区・姿川地区・石井地区において、地区内の医療機関や商業施設、路線バス等の地域間幹線系統などに接続することができる事前予約型・区域運行のデマンド交通を導入している。

※各地区の導入経過

- ・国本地区:実証運行 H23. 10 ~ / 本格運行 H24. 10 ~
- ・篠井地区:実証運行 H23. 11 ~ / 本格運行 H24. 11 ~
- ・富屋地区:実証運行 H24. 11 ~ / 本格運行 H25. 11 ~
- ・横川地区:実証運行 H24. 12 ~ / 本格運行 H25. 12 ~
- ・上河内地区:実証運行 H25. 10 ~ / 本格運行 H26. 10 ~
- ・河内地区:実証運行 H26. 2 ~ / 本格運行 H27. 4 ~
- ・平石地区:実証運行 H28. 3 ~ / 本格運行 H29. 3 ~
- ・豊郷地区:実証運行 H28. 3 ~ / 本格運行 H29. 3 ~
- ・清原南部地区:実証運行 H29. 6 ~ / 本格運行 H30. 4 ~
- ・姿川地区:実証運行 H30. 3 ~ / 本格運行 H31. 3 ~
- ・石井地区:実証運行 R2. 4 ~ / 本格運行 R3. 4 ~

なお、運営は自治会長等による地域住民組織が主体となって行われている。

## 補助対象事業の概要

### 【デマンド交通(国本地区・篠井地区・富屋地区・平石地区)】

事業者名：泉タクシー株式会社

運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎

運行区域：国本、篠井、富屋、平石地区全域及び隣接する区域の一部

運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休、※篠井地区はお盆も運休)

運行便数：1日11便(午前8時～午後6時発の1時間間隔)

運行車両：UD車両4台(各地区1台ずつ)

運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

※国本地区の一部の施設は550円

※運営主体は各地区で異なる。

### 【デマンド交通(河内地区)】

事業者名：アサヒタクシー株式会社

運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎

運行区域：河内地区全域及び隣接する区域の一部

運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)

運行便数：1日11便(午前8時～午後6時発の1時間間隔)

運行車両：UD車両1台、セダン型車両2台

※午後便はUD車両1台、セダン型車両1台

運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

## 補助対象事業の概要(続き)

### 【デマンド交通(上河内地区)】

事業者名：泉タクシー株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：上河内地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両2台(土曜日はUD車両1台)  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(清原南部地区)】

事業者名：アサヒタクシー株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：清原地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両1台  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(横川地区)】

事業者名：アサヒタクシー株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：横川地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両1台、セダン型車両1台 ※午後便はUD車両1台  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(石井地区)】

事業者名：泉タクシー株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：石井地区全域及び陽東地区、峰地区、横川地区の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)  
運行便数：1日9便(午前9時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両1台  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(豊郷地区)】

事業者名：アサヒタクシー株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：豊郷地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両1台、セダン型車両1台 ※午後便はUD車両1台  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(姿川地区)】

事業者名：矢野自動車株式会社  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：姿川地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、お盆、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両2台  
運賃：大人300円/回、小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

### 【デマンド交通(雀宮地区)】

事業者名：有限会社雀タクシー  
運行方式：デマンド方式 ※事前予約により、自宅と目的施設間等を送迎  
運行区域：雀宮地区全域及び隣接する区域の一部  
運行日：月曜～土曜(祝日、お盆、年末年始運休)  
運行便数：1日10便(午前8時～午後5時発の1時間間隔)  
運行車両：UD車両1台  
運賃：大人300円/回(一部のエリアは500円)  
小学生半額、未就学児無料(保護者同伴に限る)

## 前回の事業評価結果の反映状況

### 【国本地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・更新時の利用登録申請書を送る際には、利用者の興味が湧くような色使いや理解しやすい表現を使った案内書を送付し、積極的なPR活動を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。
- ・運行カレンダーや臨時運行のチラシ、広報誌などを作成し、地区市民センターにおいて掲示することで、利用促進を図った。

### 【篠井地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードや運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【富屋地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・地域行事日に合わせた利用促進チラシの作成や利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードの配布など利用促進策を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【上河内地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・PR活動の実施や、年4回発行の地域広報誌にて特集ページを設けるなどの利用促進を図った。
- ・梵天の湯と氏家駅の行き来に限り地域外の方も利用可とする取組により、運行効率を維持しながら、利用者数の獲得を目指した。

### 【平石地区】

- ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙を地区内に配布するなど、理解促進を図った。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。
- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。

### 【石井地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙で地区内に周知するなど、理解促進を図った。
- ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブース出展やクイズ大会などを実施し、地域内交通の周知を図った。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【横川地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブースを出展し、自治会未加入世帯も含めた利用者の拡大に向けたPR活動を実施したほか、ポイントカードの地域独自の利用促進策を実施するなど、利用促進を図った。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

## 前回の事業評価結果の反映状況(続き)

### 【河内地区】

- ・利用登録の際は、高齢者等交通弱者に地区市民センターまでお越しいただかなくても、単位自会長を窓口として登録できるルールを定着させるため、「利用登録申請マニュアル」や「地域内交通Q&Aチラシ」を作成し、自治会長会議や自治会回覧を活用した配布を行うなど、周知啓発を図った。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。
- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。

### 【豊郷地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・地域内交通と地域住民をつなぐ役割を担う推進員に向けてガイドブックを作成し、利用促進を図った。
- ・PR活動の実施や地域行事日に合わせて運行を行うなど利用促進を図った。
- ・特に、運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【清原南部地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・地域の行事に合わせた「臨時運行」を実施することで、利便性の向上に加え、新たな利用者の拡大を図った。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【雀宮地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・運転免許証返納者に対する回数券の配布やPRチラシの発行・配布、高齢者外出支援事業の啓発を行うなど、利用促進策を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

### 【姿川地区】

- ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。
- ・高齢者外出支援事業の周知や自治会回覧を活用し、予約配車システムの利用案内を実施するなど、利用促進策を実施した。
- ・登録世帯に対する新規利用マニュアルの配布や、広報誌にカラー刷りのポスターを織り込むなど、利用者が見てわかりやすいPR活動を実施した。
- ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。

## 目標効果の達成状況

### 【国本地区】

結果(2.6人/回)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

## 目標効果の達成状況(続き)

### 【篠井地区】

結果(1.5人/回, 後期高齢化率20.90%に対し, 自治会加入世帯数に占める登録世帯数の割合は20.69%)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 路線バス停留所への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【富屋地区】

結果(1.8人/回, 後期高齢化率25.49%に対し, 自治会加入世帯数に占める登録世帯数の割合は27.40%)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 路線バス停留所への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【上河内地区】

結果(1.5人/回, 後期高齢化率16.00%に対し, 自治会加入世帯数に占める登録世帯数の割合は13.01%)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 路線バス停留所への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【平石地区】

結果(2.0人/回)

- ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また, 鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【石井地区】

結果(2.4人/回)

- ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また, 鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【横川地区】

結果(2.5人/回)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 路線バス停留所への接続利用もみられ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【河内地区】

結果(2.5人/回)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 鉄道駅や路線バス停留所への接続利用もみられ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【豊郷地区】

結果(2.9人/回)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また, 路線バス停留所への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【清原南部地区】

結果(2.5人/回)

- ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また, 鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ, 広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物, 通院だけでなく, 高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

## 目標効果の達成状況(続き)

### 【雀宮地区】

結果(2.1人/回)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

### 【姿川地区】

結果(1.9人/回、後期高齢化率13.19%に対し、自治会加入世帯数に占める登録世帯数の割合は6.57%)

- ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。
- ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。

## 今後の改善点

### 【国本地区】

- ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

### 【富屋地区】

- ・利用登録率・後期高齢化率がともに高い地区であり、固定の利用者による通院利用が中心となっているため、高齢者をターゲットとした利用促進などに取り組んでいく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

### 【篠井地区】

- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
- ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。

## 今後の改善点(続き)

### 【上河内地区】

- ・目的施設にバス停留所の追加をしていることから、公共交通の乗り継ぎについて、「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで、利用者数の獲得を図っていく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
- ・後期高齢化率が比較的低いため、若年層の利用登録推進に向けたPR活動を継続して行うことで、新たな利用登録世帯や実利用者の獲得を図っていく。

### 【石井地区】

- ・新規の利用登録が見られるとともに、利用者数も増加しているが、乗車率が未だ低いことから、新たな利用者の掘り起こしに努めるとともに、利用の定着につながるよう利用促進策を検討する。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

### 【河内地区】

- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

### 【平石地区】

- ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

### 【横川地区】

- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。

### 【豊郷地区】

- ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

## 今後の改善点(続き)

### 【清原南部地区】

- ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。

### 【姿川地区】

- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
- ・目的施設にバス停留所の追加をしていることから、公共交通の乗り継ぎについて、「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで、利用者数の獲得を図っていく。
- ・後期高齢化率が比較的低いため、若年層の利用登録推進に向けたPR活動を継続して行うことで、新たな利用登録世帯や実利用者の獲得を図っていく。

### 【雀宮地区】

- ・引き続き、導入自治会の拡大を進めていくとともに、積極的なPR活動の実施など利用者の拡大に繋がる利用促進を図っていく。
- ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。
- ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。
- ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。